

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/09/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.93	-0.21
JPY/THB	0.2287	-0.0036
USD/JPY	143.85	1.22
EUR/THB	36.74	-0.25
EUR/USD	1.1162	0.0000
USD/CNH	7.042	-0.030
SGD/THB	25.51	-0.16
AUD/THB	22.41	-0.17
USD/INR	83.58	-0.11
USD Index	100.72	0.11

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.182	-0.023
10Y (THB)	2.469	-0.038
5Y (USD)	3.498	0.015
10Y (USD)	3.741	0.028

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,622.4	31.5
WTI (Oil)	71.92	-0.03
Copper	9,476.5	-38.5

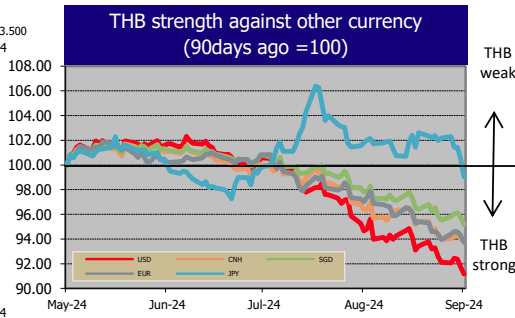
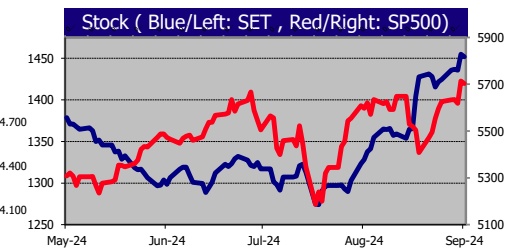
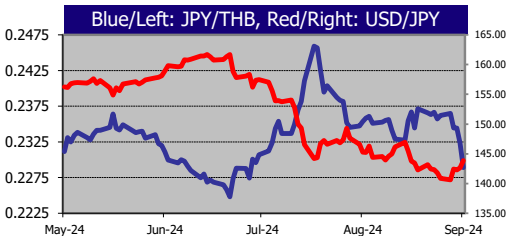
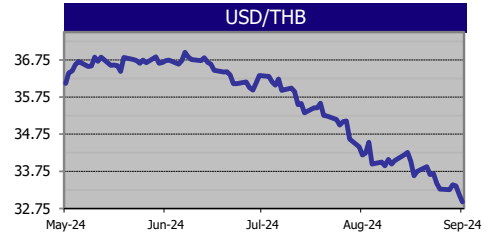
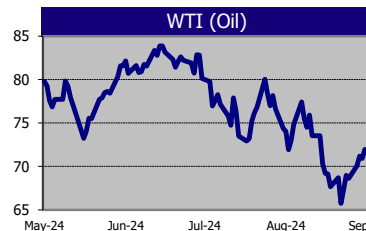
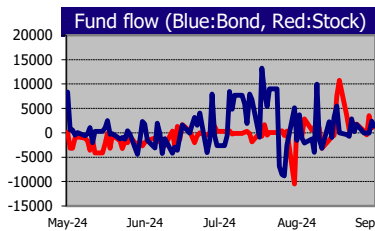
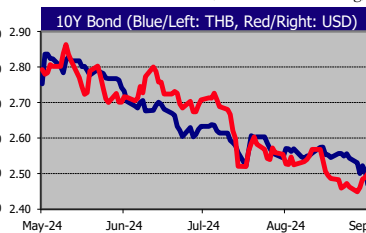
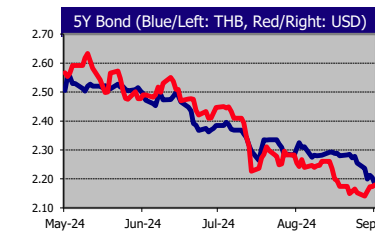
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,451.69	-3.15
NIKKEI (JP)	37,723.91	568.58
DOW (US)	42,063.36	38.17
S&P500 (US)	5,702.55	-11.09
SHCOMP (CN)	2,736.81	0.79
DAX(GER)	18,720.01	-282.37

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,399	361.6
Bond net flow	1,358	-1011.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

20日(金)のドルパーツは下落。33パーツ台前半の水準で取引を開始。引き続きアジア通貨が全般的に対ドルで堅調な推移を見せる中、ドルパーツはセタブット・タイ中銀総裁の「金融政策において、中銀の独立性が必要」との発言が伝わったこともあって、上値重く推移。海外時間に入り、低下した米金利が反発した場面ではドルパーツも上昇する動きを見せたものの、勢いは一時的なものの、直ぐに下落に転じると、終盤にかけては33パーツを割り込み、そのまま32.93レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・20日(金)のドル円は上昇。142円台後半付近で取引を開始。注目の日銀金融政策決定会合では、市場予想通り政策金利の据え置きが決定されるも、声明文における個人消費見通しの上方修正等を背景にドル円は一時141円台後半まで下落。ただ、その後に行われた植田総裁の会見での「政策判断にあたって(米国をはじめとした海外経済の状況等)を確認していく時間的な余裕はある」等の発言を受けて円売りが加速。ドル円は急騰し、海外時間には144円台半ばを付けた。動きが一服すると、終盤にかけては144円ちょうどを挟んだ値動きが継続し、結局143.85レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

毎月、月初は米国の重要経済指標が相次いで発表されるタイミングとして知られているが、月の後半についても、不動産に係る指標や消費者信頼感指数等、侮れない経済指標の発表が続き、油断できないタイミングである。中でも最も重要な指標はPCE価格指数であろう。同指標は物価の動向を示す指標であるが、CPIよりも対象範囲が広い等の特徴から、FRBも重視しているとされる。先日開催されたFOMCで、ボウマンFRB理事が0.50%の大幅利下げに反対し、0.25%の利下げを主張したことが話題となったが、その理由として「インフレには依然として懸念が残る」との考えを述べている。足もとでは、米国の労働市場に注目が集まっているが、引き続き物価の動向にも警戒をしておく必要があるということだろう。8月分のPCE価格指数は今週金曜日(27日)に発表が予定されている。先週金曜日に日銀会合を終え、主要中銀の会合がひと段落したところではあるが、経済指標の動向には引き続き注意を払っておきたい。(末廣)